

特集 愛飲者インタビュー

社員に聞いてみました

SODとの出会い、愛飲歴、変化は？

(いちばん多かったのは)

とにかく風邪を ひかなくなった!

ルイボスTX、モリンガオイル、黒胡麻と体験談が

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力 株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

今回の会報は、丹羽先生が開発したSODを始めとした健康補助食品などの販売元である、丹羽メディカル研究所の社員の人たちが、自社の商品をどのように使用しているのか、またどのような効果を実感しているのか、会報始まって以来、初の試み、社員インタビューを行ってみました。社歴が20年以上のベテランから、入社してまだ数年の新人まで、アンケートをお願いし、その中から何人かの社員に直接話を聞いてきました。個人情報報告のこともありますが、個々の名前は伏せ、イニシャルだけになります。日頃担当させていたでいる販売店の方には、イニシャルだけでもお分かりいただけますかと思ひます。

SODだけではなく
ほとんどの商品を愛用
スーパースペシャリスト

まずは社歴10年以上になるYさんです。(60代)

「私の場合、知り合いから丹羽先生の講演会のビデオを見せてもらったことがSODを知るきっかけでした。15年くらい前だったと思います。白血病で亡くなられた息子さんのことや、アトピー性皮膚炎やがん、難病などの原因はほとんど活性酸素が悪さをしているという研究結果など、2時間余り、情熱的に話されている丹羽先生のお話にもものすごく感銘を受けて、この方は普通のお医者さんのようにマニュアルに沿って通り一遍の診察をする人じゃない。抗がん剤や化学薬品の怖さに警鐘を鳴らす、すごいお医者さんだと思っただけです。私や夫、子供たちも幸いなことに元気で、大きな病気もせずになりましたから、差し迫ってSODが必要ではなかったのですが、いざという時のために今から少し飲んでみようか

などと思い、飲み始めました。もとが元気でですから、飲み始めて

大きな変化はなかったのですが、1か月後くらいに肌の調子がすごくよくなっていることに気づきました。化粧のノリがいいし、ハリつやが出たような。その後、あれ？と思ったのが、しばらく風邪をひいていないなということ。1年に1、2回は数日寝込むような風邪をひいていたし、家族がひけば必ず移っていたのに移らなかった。これは間違いなくSODのおかげだと思いました。販売元を見たら、なんと住んでいるところの近くだったんです。これは何かの縁だと思い、当時も仕事はしていたのですが、どうせならSODの会社で仕事がしたいと、こちらに履歴書を送って、採用していただいたんです。今は、主人も子供たち夫婦もみんなSODを愛用しています。もう慣れたもので、みんな調子が悪いと増量して飲んで

いて、これ多めに飲むと元気が出るね。なんて言っています。

モリンガオイルも我が家の常備品です。年齢のせいかな中肌が乾燥して、これまで保湿クリームをあこれ塗っていたのですが、どれも帯に短し襷に長し、ベタベタするかカサカサするかでコレというものに出会えませんでした。それがモリンガオイルに出会って、ようやく落ち着きました。なによりもオイルなのに塗ってしばらくするとべたつきがなくなり、しっとりするんです。化粧品の臭い匂いもなく、自然の草木の香りでハンドオイルとしても優秀。冬場のささくれもできにくくなります。また、怪我や火傷にもこれ一本。加えて私はマグニークリームも愛用しています。これは少しべたつくのですが、ひざやひじなどの関節に塗ると、階段の上り下りがすごくラクになりますよ。ルイボスティー、グリーンルイ

ボスティー、ルイボスTXも必需品で毎日飲んでいます。おかげで主人も私も、健康診断はオールAです」

なんとYさん、丹羽メディカルの商品のほとんどを愛用されているスペシャリストでした。ルイボスティーはわざわざ南部鉄器のやかんで沸かして飲まれているとか。それも丹羽先生が100度に沸騰させると効果が薄れるとおっしゃっていたので、90度から100度を保つ専門の機器で沸かしているとか。恐れ入りました。

SODは人よりひとつ 選択肢を多く持っている という安心感

ふたり目は社歴20年以上になるベテランKさん。(60代)勉強家で本好きの博識。

「家の近所で仕事を探していたところ、こちらのお仕事募集が

新聞の折り込み広告に載っていたのです。健康食品のテレアポのお仕事だと思い、軽い気持ちで始めたら、商品が単なる健康食品ではなく、本当に身体に効果的な商品だと思ったので、最初は勉強から始めました。活性酸素のこと、丹羽先生のこと、アトピー性皮膚炎のこと、がんのこと、難病のこと、勉強しなければならぬことが多くて夢中でした。病気が体を蝕む原因に始まり、ほとんどの薬は病気を治すのではなく対処療法だということなど、知れば知るほど興味が沸き、気付けばお客様とお話することが楽しくなっていました。

実は、当時、若くて元気でしたから、私はSOD飲んでいなかったんです。ところが年齢を重ねるうちに仕事に行く朝がしんどいと思う日が増えてきて、ひよっとしたらこんなときにこそSODなのかもしれないと思

い始めたのです。そこで1日を踏ん張るために初めてSODを2包飲んでみたんです。そうしたら、身体が軽く感じて、やる気もすぐ出た。以来、欠かさず飲むようになり、気付いたのは、風邪を引かなくなったことです。以前はしょっちゅう風邪をひいて病院に行っていたのに、今は、喉が痛いなど感じたらSODを6、7包余計に飲んで寝るんです。すると間違いなく朝にはいつも通りになっています。特にコロナの時は多めに飲んでいたので、なんともなかったです。

SODを飲むようになってから、健康や病気に対しての考え方が変わったと思います。自分を含め家族の健康の選択肢が、人より一つ多いんです。というのは、息子がアレルギー体質で、数年前、高校生の時、ひどくなたんです。そのときに、普通なら皮膚科に行きますよね。私は

皮膚科に行ってもステロイドを処方され、かゆみがなくなった止め、またかゆみが出たらステロイドの繰り返しですよ。そのことを知っているのに、迷わず丹羽先生の新横浜の診療所に行きました。ルイボスTXと独自の軟膏を処方され、1年後にはすっかり治っていました。今は息子も一人暮らしを始めたので、食生活が心配で、やはりルイボスTXとSODを送っていますが、元気でやっているようです。

このように、他の人より選択肢を一つ多く持っている、というのは大きな安心に繋がっています」

この安心感からか、お風呂上りにSODを飲んで、今日も良く働いたなー、と一息入れると、夜、よく眠れるんです。というKさんでした。

手のかゆみ、シミがSODを1年愛用で改善

続いては社歴12年のFさん(40代)です。

「こちらに入社するまではサービス業の仕事をしていたのですが、土日が休みではなかったもので、子供ができたのをきっかけに土日休みの仕事を探していたところ、こちらにお願いしたわけです。土日祝日休みで残業なしですから、理想どおり。まったく知識がない状態で入社して、一からの勉強でしたが、それがすごく楽しかったですね。普通の健康補助サプリを扱っているのではなく、体を根本から改善していく素晴らしい商品ばかりでしたから、人に胸を張って勧められる、誇りが持てるんです。とい

ながら、私自身は若かったし、健康でしたから当時SODは飲んでいませんでした。それが30代中盤を過ぎたあたりから、手の甲にかゆみが出て、掻いてみるとプチプチとイボのような突起が出てきたんです。ただ、アトピー性皮膚炎やアレルギーとはちょっと症状が違い、手の甲だけでしたから、皮膚科に行くこともなく放置していたんです。なんとなく紫外線の強い時期になるとかゆくなり、弱い時期になると治まっていたので、放置していたら、かゆみがどんどんひどくなり、掻きむしった後に、血が出たり、かゆみが治まったあとがシミになったりして、人に見られたくない状態になったんです。でも、皮膚科に行ってもおそらくステロイドを処方されて一時的にかゆみが治まるだけだからと病院には行かなかったんです。代わりに、SODを1か月くらい飲んだら、完全とまではいかないけど、かなり良くなったので飲むのを止めてしまった、そうしたら1年後くらいにまた振り返したので、今度

はまじめに1日6包、半年飲み続けました。やはり続けないと意味がないですね。お客様にもそのように勧めているくせに自分のこととなると面倒になってしまう。もう、私も40代ですから、自分のことは自分でケアしないといけないと実感しました。今は手の甲もすっかり良くなり、シミもすごく薄くなったんです。これって、顔のシミにも効果あると思います。

SOD、今は1日2包を、健康維持で飲んでいます。3人の子供たちがしょっちゅう風邪をもらってきませんが、全く移らないでいます。私が元気でいないと家庭が成り立ちませんから、もうSODはやめません」

こうやってお話うかがっていて気づくことは、みなさん実年齢よりかなりお若い。なによりも肌に透明感があってキレイなんです。SOD恐るべし。

娘から塗ってとねだられる モリンガオイルで成長痛改善

今回取材したスタッフの中で最年少なのがSさん(30代)。見た目は20歳くらいにしか見えなけれど4歳のお子さんのママ、社歴2年の新人さんです。

「大学が食品生命学科でしたから、求人広告を見て、迷わずこの会社を選びました。すべての原材料がナチュラルで安心できる商品ばかりです。すごいな。それにスタッフみなさんがものすごく知識が豊富で、驚きました。私自身はSODとモリンガオイルを愛用しています。SODは1日3包から6包を調整しながら飲んでいきます。飲み始めて数か月で、風邪気味でも発熱することがなくなり、1年でまったく風邪をひかなくなりました。モリンガオイルのほうは娘が愛用しています。ここ1年くらい、夜寝ていると、急に足が痛いと言

って泣き出すことが多く、試しにモリンガオイルを塗って足のマッサージをしてあげたら、すぐに眠りについたんです。多分、成長痛のようなものだと思うのですが、以来、寝ていて足が痛くなると、自分から「アレ塗って」と言ってくるようになった。効いているんだなと思います。今度は母の腰痛にも勧めてみようかと思っています」

子供は正直ですね。いいものは肌で感じ取っている。

春夏秋冬切れ目のない花粉症 ルイボスTXで奇跡が

続いては社歴20年のベテランTさん(40代)ご本人がアレルギー体質で、重度の花粉症に悩まされてきたといいます。

「春のスギ、ヒノキ花粉だけでなく、夏にはイネ科、秋から冬にはブタクサなど、とにかく1年中なかしらの花粉症で、何

に反応しているのか特定できないといわれています。だから昼間は抗ヒスタミン剤のフェキソフェナジン(アレグラ)を飲まないと鼻水、くしゃみ、咳、体のかゆみが止まらない。さらに夜になると咳がひどくなるんです。だから夜は咳止めや喘息の吸入器(吸入ステロイド剤)を使ったりしていました。子供のころからずっとですから、免疫力はかなり低下していたと思います。昔の薬は眠くなったり、ふらついたりしましたが、今の薬はずいぶん良くなっていて、それだけでも助かります。しかし、いちばん効果的だったのがルイボスTXでした。

入社してから、SODがいいのは分かっているのですが、どうしても飲みづらくてやっのことと1包をがんばって飲んでいきます。逆に欠かさないのはルイボスTXと黒胡麻。特にTXを飲むようになってから花粉症

の症状が明らかにラクになり、

春のスギ花粉の期間以外は薬を飲まなくても大丈夫になったんです。自分的には奇跡のようで、TXには感謝しかありません。さすがにスギ花粉の季節は薬と併用していますが、TXの量を増やしたら、さらに改善されるかもと思っています。今、一日1、2包なので、倍にしてみようかなど。その時はまた報告しますね」

春のスギ花粉は普通は早い人で1月下旬くらいからと言われていますが、Tさんは12月から兆候が現れるとか。本当にこれまで大変な思いをしてこられたんですね。TXの続報お待ちしています。

風邪ひとつひかず元気です

最後は社歴20年、広報担当のFさん(40代)。ご主人、お嬢さん、最愛のワンコという家族構成で、ワンコも含め全員がSOD(ワン

コは犬用SOD)愛飲者です。

「SODは飽き性の私が唯一続けているサプリです。1日6包は欠かしません。続いている理由は、効果が実感できるからというのがいちばんです。風邪ひとつひかず元気で仕事と家事の両立ができてるのはSODのおかげです。でも、娘は幼い頃、アトピー性皮膚炎を発症して、耳や四肢にかゆみが出て、夜中に起きては掻きむしり、泣いて大変だった時期がありました。そんなときに助けてくれたのがSODとルイボスTXでした。毎日、1包ずつを欠かさず1年続けたおかげですっかり完治したんです。その娘もいまでは17歳。年頃ですからニキビが出るとSODをしっかりと3包くらい飲んでいきます。効くことが分かっているから。実際、ニキビもすぐに治ると言っています。

娘がアトピーだった頃、幼稚園に通う多くの子が何かしらア

レルギーを持っていました。親御さんが食べ物などにすごく苦労されていましたね。みなさん皮膚科に通っていて、ステロイドの軟膏を塗っているのを見るにつけ、良くなるのも一時的なものではないのと思っていたんですが、口には出せませんでした。でも、何人かのママがお宅の子はどうして治ったのと聞いてきました。説明は聞いてくれても価格を知るとみなさん、ちょっと引かれていたので、それ以上は言えませんでした。何か勧誘みたいになるのも嫌でしたから、以来、信頼できて本当に興味のある方にだけ教えていました。

昔と違い、今、花粉を始め、食品、草木、動物など本当にたくさんの方がアレルギーに悩まされていますよね。少しでもそんな方たちの助けになりたいし、どうすればたくさんの方たちに本当にいいものが伝わるのか、

それを見つけるのがこれからの私の課題だと思っています」

広報としての課題は、より多くの方にSODやルイボスTXなどを知ってもらい、愛用してもらうこと、というFさん。期待していますね。

今回このように社員の方とお話して、それぞれにドラマや悩みがあり、それぞれに独自の愛飲法を実践しているのに感じました。おそらくほかのどの会社の方よりも、ここの社員の方は元気で健康だと思えますので、みなさま、安心してご相談ください。





column

ルイボスTXを解き明かす 花粉症、アレルギー、 アトピー性皮膚炎だけに 止まらない万能選手

今回、社員のかたを取材して、

SODと同じくらいルイボスTXが愛飲されているのに驚きました。そこで、ルイボスTXとはどのようなものか、改めて紹介したいと思います。

ルイボスティーは健康茶としてよく聞きますが「ルイボスTX」は初耳という方が多いのではないのでしょうか。簡単にいうとルイボスティーをギュッと凝縮したもので、開発者の丹羽先生は、丹羽療法の根幹としてSODとルイボスTXを必ず使用していました。

先生いわく、

「TXの効果は、一般の漢方薬や

ルイボスティーとは比較にならない」

と断言するくらい頼もしい存在なのです。というのもTXは単にルイボスティーが凝縮されているだけでなく、SODと同様に土鍋で98度を保って煮沸焙煎され体内に早く吸収できるよう作られています。

ではルイボスは具体的にどのような疾患に有効なのでしょう。

そもそもルイボスは南アフリカの最南端にある高原だけに生育しています。古くから原住民の間では万能薬として伝えられ、ヨーロッパでも美と健康の妙薬

として普及してきました。ルイボスティーの人気の高まるにつれ、南アフリカ政府はなんとか増産しようと他の地域で栽培を試みたのですが、すべて失敗に終わりました。気候の似ている同じ緯度のオーストラリアや乾燥地帯のカリフォルニアでも試

みたそうですが、やはり失敗。現在は南アフリカ政府の厳重な管理のもと、ケープタウンの北にあるセダルバーグ山脈の斜面だけで栽培されています。世界で最も日照時間が長く、乾燥した土地に深くまで伸びた根が、世界最古の地層にある豊富なミネラルを吸収して育ちます。

効能は、多くの医学博士や専門家、諸外国の医療関係者の方々が研究発表しています。それによると、花粉症や鼻炎、アレルギー、アトピー性皮膚炎、それに伴うかゆみの軽減、肌荒れ、貧血、便秘、炎症、高血圧、高コレステロール、などの症状が

ら、がん、白内障、糖尿病、リウマチ、心筋梗塞、胃潰瘍、ウイルス感染などの疾患にまで、効能は枚挙にいとまがないくらいです。

SODと併用で効果倍増

アトピー性皮膚炎、つまりアレルギーは、がん、膠原病と並び、丹羽先生の3大専門分野のひとつです。

「アトピー性皮膚炎などで私の病院や診療所に来る患者さんには、まずSOD様作用食品(通称SOD)とルイボスTXを内服してもらいます。内服薬として活性酸素を有効に除去するのがSOD。さらにアレルギー反応(発疹やかゆみ)そのものを抑えるフラボノイドという物質を大量に含んでいるルイボスティーの成分を抽出させたエキスを、ルイボスTX。これらを服用してもらいますが、あまりにもかゆみがひどい場合

は、最初の数週間だけ抗ヒスタミン剤も内服します。それもSODとTXを内服しているうちに効果が出てきて、かゆみが治まり、抗ヒスタミン剤などは必要なくなります。SODはアトピー性皮膚炎の原因となる過酸化脂質を除去し、ルイボスTXは、かゆみや炎症を起こすヒスタミンの分泌を抑えてくれます。

さらにTXは、痛み、腫れ、発熱などの一般の炎症反応だけでなく、喘息などのアレルギーにも効果が期待できます。つまり、ルイボスTXは抗生剤や抗ヒスタミン剤、ステロイドなどの代わりになる自然の生薬ということです。アトピーだけでなく、種々のアレルギー、花粉症などにも非常に効果的なのです」

花粉症というのは丹羽先生が医師になった頃は全くなかった疾患だといえます。それを言えば、アトピー性皮膚炎も、昔は子供の頃になることはあっても、

大人になると治っていたそうです。それが1970年代を境に大人なっても治らないアトピー性皮膚炎が増えたといえます。そして現在、日本では2人に1人が何らかの物質に対してアレルギーを持つとされており、年々患者数が増加傾向にあることが問題となっています。

「なぜそうなったか、原因は環境汚染です。環境汚染がひどくなればアレルギー体質も助長されてしまいます。例えば、緑がたくさんあって空気がきれいな田舎で発生するスギの花粉を浴びても花粉症にはなりません。問題は、そのスギの花粉が都会の排気ガスや窒素化合物などと結合すると悪者に変化することです。汚染された空気で粘膜が荒らされてしまい、これまでスギの花粉だけに反応していたものが、ヒノキの花粉にまで反応してしまい、アレルギーを起こす原因が広がってきます。そして

季節を問わず365日、鼻炎になってしまいう人が増加しているのです」

これまで丹羽先生は、花粉症は1年のうち春、ほんの数ヶ月だけだから、あまりつらいようなら抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤、ステロイドなどを処方してもらおうのもアリだと言っていました。ただ、それを5年、10年と常用すれば副作用がいろいろ出てくるから、気をつけるようにと。ところが365日何らかのアレルギー症状が出るとなると、状況は違ってきています。

丹羽先生も

「そうになると、今のところルイボスティーを濃縮したルイボスTXが、化学薬品を使わないかゆみ止めのいちばんの特効薬といえるでしょう。すべてSODと併用することで効果は倍増します」

と断言しています。

本紙の利用に関するお願い

日本SOD研究会報は、株式会社丹羽メディカル研究所のみ利用許諾をしております。当研究会の許可なく、文章、画像の一部および全てについて、販促物利用、転載、複製、複写、転用、編集、ブログへの引用などの二次利用を固く禁じます。丹羽メディカル研究所が許可した場合はこの限りではありません。

SOD様作用食品体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-15-2 B棟 2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は生前、土佐丹羽クリニックの院長として日々、医療の現場で、がん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたられていました。また、SODなどを始めとする論文は高い評価を得て、日本のみならず海外の学会で講演したり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送られました。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

◆現在、丹羽療法の診察は皮膚科のみとなります。ご希望の方はご予約いたします。（※自由診療）
※診療日等に関しましては、状況により変更、休診となることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所 ☎ 0120(731)175